

水資源分野における我が国事業者の海外展開活性化に向けた協議会 第4回全体会議 議事概要

1. 日時： 令和2年3月5日（木）
2. 場所： （持ち回り開催）
3. 議事概要
 - 水資源分野における我が国事業者の海外展開活性化に向けた協議会（以下「活性化協議会」という。）の、2019年度（令和元年度）における実施結果及び2020年度（令和2年度）の活性化協議会の進め方について確認した。
 - 2019年度（令和元年度）における実施結果については、次の内容を確認した。
 - 「ミャンマーにおける統合水資源管理マスタープラン」については、ミャンマー国政府内関係機関等との調整を行った結果、ミャンマー国内における統合水資源管理マスタープランの必要性、重要性に関する理解が進み、同国政府から「バゴー川・シッタン川流域統合水資源管理マスタープラン策定」についての要請書が日本国政府に提出された。
 - 「インドネシアにおけるダム再生」に関する案件候補については、既設ダムの堆砂対策に関する検討を行い、インドネシア国政府及び関係機関に提案を行ったところ、同国政府から実施に向けた前向きな意向が示された。
 - 我が国事業者の海外展開を促進するために重要となる「水資源分野における日本の技術集（案）」をとりまとめ、活性化協議会の構成員及びその会員企業等で共有することとした。
 - 2020年度（令和2年度）の活性化協議会の進め方については、次の内容を確認した。
 - 令和2年度に調査対象とする案件候補については、令和元年度に選定した「インドネシアにおけるダム再生」に関する案件候補に加え、新たに調査対象とする案件候補について2020年度（令和2年度）の全体会議で選定する。
 - 「水資源分野における日本の技術集（案）」については、水資源分野の案件形成に向け、相手国政府への日本技術の紹介等に活用するとともに、継続的に情報を更新していく。

（以上）